ふくい産業ＡＸコンソーシアム 生成ＡＩ導入支援専門家募集要項

福井県産業労働部経営改革課

福井県では、ふくい産業ＡＸコンソーシアム会員企業（以下「会員企業」という。）のＡＸを推進するため、生成ＡＩの業務利用が進んでいない会員企業を対象に、生成ＡＩを安全に活用できるよう、個別伴走支援を実施する予定としております。このため、生成ＡＩの導入から活用・定着まで支援できる生成ＡＩ導入支援専門家を募集します。

なお、当該事業は、会員企業が、登録専門家の得意分野、支援実績、対応方法等を確認した上で、希望する専門家を選択するため、専門家への登録は、会員企業への派遣を保証するものではありません。

１ 専門家の要件

・応募者は、次のすべてを満たすものとします。法人等から応募する場合は、実際に支援を担当する者を明記してください。

(1) 生成ＡＩ（ChatGPT、Microsoft Copilot、Gemini、Claude 等）の様々な機能を活用した業務利用経験を有し、活用した業務、利用方法、効果および留意点を具体的に説明できること。

(2) 中小企業への生成ＡＩ活用支援の経験を有していること。

(3) 業務の聞き取りや支援目標の合意、ハンズオン体験による活用対象の選定・試行、効果確認および継続利用に向けた支援を行えること。

(4) 原則として会員企業を訪問し、対面で支援できること。ただし、支援の一部については、オンラインによる支援および相談対応も可能とする。

(5) 生成ＡＩの誤出力、情報漏洩、個人情報・機密情報の取扱い、著作権等に関する基本的な知識を有し、安全な利用方法を説明できること。

(6) 本事業の趣旨を理解し、県が指定するふくい産業ＡＸコンソーシアムの研究会（12/8 14:30～）に参加できること。

(7) 今回の支援業務で知り得た情報について守秘義務を遵守し、個人情報および企業の機密情報を適切に取り扱えること。

２ 支援内容

支援により、生成ＡＩ未導入企業の経営者および社員が、生成ＡＩの基本的な機能や操作を習得し、自社業務での活用を実践できる状態を目指す。

経営者は生成ＡＩの活用可能性を理解するとともに、社員はＡＩへの指示を工夫して生成結果を改善し、業務ごとに資料の登録・更新、指示内容の設定・修正（例 スキルやプロジェクト機能の活用）を行えるようになることを目的とする。

専門家による支援終了後も、社員等が業務手順を整理し、プロンプトの再利用やスキル等の活用により、継続的に業務活用できる状態を目指す。

（１） 事前ヒアリング・環境確認および支援目標の合意

会員企業の訪問前に、ふくい産業ＡＸコンソーシアムの研究会やオンライン、または訪問により、日常業務、繰り返し行う作業、時間や負担のかかる業務、生成ＡＩに対する疑問や不安を確認すること。併せて改善を目指す業務の内容や課題を整理するとともに、継続的に改善に取り組める経営者や担当者の有無、改善に確保できる時間等を確認すること。支援目標は経営者と認識を合わせること。その上で、文書作成や画像（チラシ）作成などハンズオン体験を通して対象業務を選び、パソコン、通信、既存ツールおよび情報の取扱環境を確認すること。

（２） 生成ＡＩ利用環境の設定・導入支援

聞き取った業務に即した例を用いて、生成ＡＩの活用を実演し、また社員が実際に操作・利用する機会を設けること。

試行する業務や社内担当者、費用負担を確認した上で、業務利用に適した生成ＡＩの導入および初期設定を支援すること。有料サービスを利用する場合は、必要性、費用、利用条件および継続負担について説明すること。

（３）利用ルール策定支援

生成ＡＩを安全かつ効果的に活用するため、入力できる情報と入力を避ける情報、生成結果の確認方法、顧客情報その他の機密情報の取扱いを整理するとともに、利用する生成ＡＩサービスの選定に当たって留意すべき事項（学習利用設定、アクセス権限等）を踏まえ、簡易な社内利用ルールの作成を支援すること。

（４）伴走支援

プロンプトの作成・出力、改善の方法に加え、日常業務の中から繰り返し活用できる業務を選定し、プロンプト、業務手順、資料、出力形式等をあらかじめ生成ＡＩに設定する方法により、社員が簡単な指示で業務を実施できる仕組みづくりを支援すること。

ア）生成ＡＩの基本操作の習得

要約・メールの下書きなどの文書作成や、情報収集・整理などについて、業種ごとに代表的な型を用いたハンズオンを実施し、プロンプトエンジニアリングの考え方を教えること。専門家の実演に続き、経営者や社員が生成ＡＩへの入力、出力の確認・修正、指示の改善等を体験し、実際の業務で活用できるよう支援すること。

イ）業務ごとのＡＩワークスペースの作成

ＡＩワークスペース（例 ChatGPT プロジェクト機能）について、経営者や社員が作成し、必要な資料（業務マニュアル、商品資料、社内規程、過去の提案書等）の登録・更新、指示の設定・修正、会話や成果物の整理を行えるよう支援すること。

また、対象業務を選定した上で、実際に業務で使用する資料を登録し、社員が支援を受けた段階からＡＩを活用できる状態となるよう、ワークスペースの構築および利用方法の実践的な支援を行うこと。

ウ）ＡＩエージェントの構築支援（任意）

反復業務への有用性が認められる場合は、経営者の意向と支援範囲を確認し、既存サービスの標準機能で実施できる簡易なエージェント等の作成を専門が中心となり作成すること。社員が用途、参照資料、指示、出力の確認方法および設定の見直し方を理解して運用できるようにし、専門家による作成・納品のみで終了しないこと。エージェントの作成支援の必須としない。独自ＡＩの開発、本格的なシステム連携および外部システムへの自動登録・送信の仕組みの構築は標準支援に含めない。

（５）利用状況確認および改善支援

原則として２週間程度後に利用状況を確認すること。利用が進まない場合は、その理由を聞き取り、対象業務、操作方法、設定内容の見直しを実施すること。

また、社員自身が活用前後の作業時間、成果物の品質、使いやすさ等を振り返り、生成ＡＩへの指示や利用方法を改善できるよう支援すること。

（６）オンラインフォロー

伴走期間中にオンラインフォロー（（５）利用状況確認および改善支援を含む）を実施すること。また、期間中はメールまたはチャットにより利用相談に対応すること。

３ 成果目標

対象の会員企業が次の状態となることを目標とする。

①経営者や社員が生成ＡＩの操作、改善の方法を理解していること。

②入力する情報の範囲や生成結果の確認など簡易な利用ルールが定められていること。

③選定した業務において、経営者や社員が生成ＡＩの活用を実践していること。（専門家による成果物の納品やエージェントの作成のみとしないこと）

なお、未達成の場合は、課題や改善内容を整理すること。

４ 支援単価

専門家への委託額は、１社あたり２２０，０００円（税込）とする。なお、上記金額には、事前準備、訪問支援（数日）、オンライン支援を含むものとする。会員企業が使用する生成ＡＩサービス等の利用料は含めず、会員企業の負担とする。

５ 専門家に求める協力事項

・専門家は、本事業の成果把握および横展開のため、次の事項に協力すること。

①支援内容を踏まえたプロンプトエンジニア事例の共有

②支援内容を踏まえた利用ルールの共有

③コンソーシアム事例発表会への協力

④県が実施する施策検討への協力

⑤県ホームページ等への事例掲載への協力

※①から③は成果として公表を予定しております。

（参考）

ふくい産業ＡＸコンソーシアムでは、以下の５ステップでＡＸを進めることとしており、今回はＡＸ１段階の支援を想定している。

ＡＸ５ステップ	概要
ＡＸ１ （生成ＡＩ導入）	生成ＡＩの社員利用、社内ルール策定
ＡＸ２ （データ連携統合）	社内データをＡＩに接続、ＲＡＧ等を使いエージェント化
ＡＸ３ （業務プロセス刷新）	ＡＩを前提とした業務プロセスに刷新
ＡＸ４ （独自ＡＩ開発）	競争力源泉の頭脳として自社固有ＡＩを開発
ＡＸ５ （高度ＡＩ開発）	業界ごとの基盤モデル構築等、サプライチェーンも含め大規模横展開